

記入例

入学願書記入例（様式Aの1のア）

様式Aの1のア

平成 25 年度選抜

※受付番号	
※受付 学校名	

一 般

入 学 願 書

（全日制普通科以外を第1志望とする志願者、又は保護者の住所が京都市北若しくは京都市南通学園にあり、全日制普通科を第1志望とする志願者、又は保護者の住所が口丹・中丹・丹後通学園にあり、普通科総合選択制若しくは単位制による全日制課程の普通科を第1志望とする志願者用）

住所は、郡・市から書き出す。

転居予定の者も、出願時の住所を記入すること。

字体は、住民基本台帳等のおおりを基本として、楷書で正確に。

在学（出身） 中 学 校 名	京都市立〇〇中学校
志 願 者 住 所	（〒602-8570） 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町1番地
ふりがな	きょうと よしこ
志 願 者 氏 名	京 都 良 子 平成9年12月1日生 男 ☒

上記の者は、下記のとおり入学を志望しますので、出願します。

平成 25 年 2 月 25 日

京都市立 A 高等学校長 様

第1志望が総合選抜の場合は、記入しないこと。
○囲みも不要。

（〒 - ） 保護者住所	志願者と同じ。
ふりがな	きょうと たろう
保護者氏名	京 都 太 郎 ☒
志願者との関係	父

（電話） 075-414-5848

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

記

志 望	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望	
	課 程 名	☒ 全 日 制	定 時 制 昼 夜	☒ 全 日 制	定 時 制 昼 夜
志 望	学 科 名	普通		普通	
	類・類型 又は系統等	第Ⅱ類 理数系		第Ⅰ類	
	学 校 名 （分校志望者は 分校名まで記入 してください。）	A		B	
	上記高等学校 以外入学を志 願しません。			注 総合選抜を行う普通科第Ⅰ類を第1志望とする者のうち、「学校名」欄に記入した高等学校以外には入学を志願しない者のみ左欄に○印を記入し、「第2志望」欄を斜線で抹消の上、確約書を提出してください。	
	特別活動・部 活動に関連する 入学希望の有無			注 総合選抜を行う普通科第Ⅰ類を第1志望とする者のうち、選抜要項11により入学希望書等を提出した者のみ左欄に○印を記入してください。	

保護者の住所の存する通学園

☒ 京都市北・京都市南

注 京都市北・南通学園の普通科第Ⅰ類及び第Ⅱ類を志願する者のみ上欄の通学園を○印で囲んでください。

保護者の住所に最寄りの停留所・駅のコード番号(停留所・駅名)

10514

（ 府 庁 前 ）

注 総合選抜を行う普通科第Ⅰ類を志願する者のみ記入してください。

注 特別事情具申を行い、許可・確認を受けた者は、その許可・確認を受けた住所により記入してください。

（他の都道府県からの入学志願者又は出願時に成年に達した入学志願者は、下欄に連絡先等を記入してください。）

連 絡 先 （〒 - ）	（ ） 方 電話
在学（出身）中学校住所 （〒 - ）	電話

志望先記入例（様式Aの1のア）

例1（様式Aの1のア 京都市北・京都市南通学圏 ※第1志望が総合選抜の場合）

志望	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望	
	課 程 名	全日制	定 時 制 昼 夜	全日制	定 時 制 昼 夜
	学 科 名	普通			
	類・類型 又は系統等	第Ⅰ類			
	学 校 名 分枝志望は 分枝名まで記入 してください	A			
	上記高等学校以外 入学を志願し ません。				
	特別活動・部活動 に関連する入学 希望の有無	○			

第2志望がない場合は、斜線で抹消すること。

特別活動・部活動に関連する入学校の希望がある場合は、必ず記入すること。
なお、保護者の住所の存する通学圏と異なる通学圏にある高等学校を希望できるのは、特別活動・部活動に関連する入学校の希望がある場合に限られる。

特別活動・部活動に関連する入学校の希望がある場合は、○印を記入し、特別活動・部活動に関連する入学希望書を提出すること。

<例1で記入した志望の扱い>

①第1志望について

選抜要項 7 (1)により第1次合格者を決定する。第1次合格者のうち、京都市北及び南通学圏の双方からA高校への特別活動・部活動に関連する入学希望書を提出したものについて、第Ⅰ類の募集定員の20%までの範囲内で入学校を決定する。第1次合格者で20%までに至らなかった場合は、選抜要項 7 (3)により第2次合格者となったもののうち、当該通学圏内からA高校への特別活動・部活動に関連する入学希望書を提出したものについて20%までの範囲内で入学校を決定する。

上記により、A高校への入学予定者とならなかった場合は、保護者の住所の存する通学圏内で地理的条件を考慮して入学校を決定する。（地理的条件により、A高校以外の入学予定者として決定された者は、A高校が保護者の住所の存する通学圏にある場合、地理的条件によりA高校の入学予定者として決定された者と相互の希望に基づき入れ替えの対象となる。）

例2（様式Aの1のア 京都市北・京都市南通学圏 ※第1志望が総合選抜の場合）

志望	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望	
	課 程 名	全日制	定 時 制 昼 夜	全日制	定 時 制 昼 夜
	学 科 名	普通			
	類・類型 又は系統等	第Ⅰ類			
	学 校 名 分枝志望は 分枝名まで記入 してください	A			
	上記高等学校以外 入学を志願し ません。	○			
	特別活動・部活動 に関連する入学 希望の有無				

総合選抜を行う全日制普通科第Ⅰ類を第1志望とし、「上記高等学校以外入学を志願しません。」欄に○印を記入した者は、必ず斜線で抹消すること。

特に希望する高等学校がない場合は、斜線で抹消すること。

A高校以外の高校には入学を志願しない者は、この欄に○印を記入し、確約書を提出すること。この場合、A高校への入学予定者とならなかった場合は不合格となる。

<例2で記入した志望の扱い>

①第1志望について

選抜要項 7 (1)により第1次合格者及び選抜要項 7 (3)により第2次合格者を決定する。合格者は、当該通学圏内で地理的条件を考慮して入学校を決定する。（地理的条件により、A高校以外の入学予定者として決定された者は、地理的条件によりA高校の入学予定者として決定された者と相互の希望に基づき入れ替えの対象となる。）

上記により、A高校への入学予定者とならなかった場合は、「上記高等学校以外入学を志願しません。」欄に○印を記入しているので不合格とする。

例 3 (様式 A の 1 のア 京都市北・京都市南通学圏 ※第 1 志望が単独選抜の場合)

志 望	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望	
	課 程 名	全日制	定 時 制 昼 夜	全日制	定 時 制 昼 夜
	学 科 名	普通	普通	普通	
	類・類型 又は系統等	第Ⅱ類 文理系	第Ⅱ類 人文系	第Ⅰ類	
	学 校 名 (分枝志望者は 分枝名まで記入 してください)	A	B	C	
	上記高等学校以 外入学を志願し ません。				
	特別活動・部活動 に関連する入学 希望の有無				

普通科第Ⅱ類を第 1 志望とする場合は、順位をつけて 2 校記入することができる。その場合は、第 1 順位の類型を左側に記入し、第 2 順位の類型を右側に記入すること。なお、京都市北・南通学圏のどの高校でも第 1 順位又は第 2 順位とすることができる。

ただし、第 2 順位で記入できるのは第 1 順位で記入した高等学校以外の高等学校の普通科第Ⅱ類に限る。

普通科第Ⅰ類を第 2 志望とする場合も、保護者の住所の存する通学圏内の希望する高等学校名を記入することができる。ただし、希望校へ入学できるとは限らない。

入学校を希望しない場合は、斜線で抹消すること。

第 1 志望が単独選抜の場合は、この欄は斜線で抹消すること。

<例 3 で記入した志望の扱い>

①第 1 志望第 1 順位について

A 高校普通科第Ⅱ類文理系を第 1 志望とする志願者を選抜し、合格者を決定する。

②第 1 志望第 2 順位について

①で合格とならなかった場合、第 2 順位の B 高校普通科第Ⅱ類人文系について、B 高校普通科第Ⅱ類人文系を第 1 順位とする志願者から合格者を決めた後、なお欠員がある場合、B 高校普通科第Ⅱ類人文系を第 2 順位とする他の志願者と合わせて選抜し、合格者を決定する。

ただし、①及び②で当該高校の存する通学圏と異なる通学圏から合格できるのは、定員の 50% までに限られる。

③第 2 志望について

第 1 志望で合格とならなかった場合、第 2 志望を生かして、他の第Ⅰ類志願者と合わせて選抜し、合格者は当該通学圏で地理的条件を考慮して入学校を決定する。(地理的条件により C 高校以外の高校の入学予定者として決定された者は、地理的条件により C 高校の入学予定者として決定された者と、相互の希望に基づき入れ替えの対象となる。)

例 4 (様式 A の 1 のア 京都市北・京都市南通学圏)

志 望	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望	
	課 程 名	全日制	定 時 制 昼 夜	全日制	定 時 制 昼 夜
	学 科 名	普通		普通	
	類・類型 又は系統等	第Ⅲ類 体育系		第Ⅰ類	
	学 校 名 (分枝志望者は 分枝名まで記入 してください)	A		B	
	上記高等学校以 外入学を志願し ません。				
	特別活動・部活動 に関連する入学 希望の有無				

普通科第Ⅰ類を第 2 志望とする場合も、保護者の住所の存する通学圏内の希望する高等学校名を記入することができる。ただし、希望校へ入学できるとは限らない。

入学校を希望しない場合は、斜線で抹消すること。

第 1 志望が単独選抜の場合は、この欄は斜線で抹消すること。

<例 4 で記入した志望の扱い>

①第 1 志望について

A 高校普通科第Ⅲ類体育系を第 1 志望とする志願者を選抜し、合格者を決定する。

②第 2 志望について

第 1 志望で合格とならなかった場合、第 2 志望を生かして、他の普通科第Ⅰ類志願者と合わせて選抜し、合格者(第 1 次合格者及び第 2 次合格者)は当該通学圏で地理的条件を考慮して入学校を決定する。(地理的条件により B 高校以外の高校の入学予定者として決定された者は、地理的条件により B 高校の入学予定者として決定された者と、相互の希望に基づき入れ替えの対象となる。)

例5（様式Aの1のア 京都市南通学圏）

志 望	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望	
	課 程 名	全日制	定 時 制 昼 夜	全日制	定 時 制 昼 夜
	学 科 名	普通		普通	
	類・類型 又は系統等	総合選択制		第Ⅰ類	
	学 校 名 （分枝志望は 分枝名まで記入 してください）	洛東		A	
	上記高等学校以 外入学を志願し ません。				
	特別活動・部活動 に関連する入学 希望の有無				

普通科第Ⅰ類を第2志望とする場合も、保護者の住所の存する通学圏内の希望する高等学校名を記入することができます。ただし、希望校へ入学できるとは限らない。
入学校を希望しない場合は、斜線で抹消すること。

第1志望が単独選抜の場合は、この欄は斜線で抹消すること。

<例5で記入した志望の扱い>

①第1志望について
洛東高校普通科総合選択制を第1志望とする志願者を選抜し、合格者を決定する。

②第2志望について
第1志望で合格とならなかった場合、第2志望を生かして、他の普通科第Ⅰ類志願者と合わせて選抜し、合格者（第1次合格者及び第2次合格者）は当該通学圏で地理的条件を考慮して入学校を決定する。（地理的条件によりA高校以外の高校の入学予定者として決定された者は、地理的条件によりA高校の入学予定者として決定された者と、相互の希望に基づき入れ替えの対象となる。）

例6（様式Aの1のア 口丹・中丹・丹後各通学圏）

志 望	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望	
	課 程 名	全日制	定 時 制 昼 夜	全日制	定 時 制 昼 夜
	学 科 名	普通		普通	
	類・類型 又は系統等	総合選択制			
	学 校 名 （分枝志望は 分枝名まで記入 してください）	大江		A	
	上記高等学校以 外入学を志願し ません。				
	特別活動・部活動 に関連する入学 希望の有無				

第2志望が全日制普通科（第Ⅲ類、普通科総合選択制及び単位制による課程の普通科を除く。）の場合、「類・類型又は系統等」欄は、斜線で抹消すること。

この欄は斜線で抹消すること。

<例6で記入した志望の扱い>

①第1志望について
大江高校普通科総合選択制を第1志望とする志願者を選抜し、合格者を決定する。

②第2志望について
第1志望で合格とならなかった場合、A高校の普通科について、普通科を第1志望（第1順位及び第2順位）とする志願者から合格者を決めた後、なお欠員がある場合、第2志望を生かして、他の第2志望とする志願者と合わせて選抜し、合格者を決定する。ただし、A校の学区外からの合格者（特色選抜による合格者を含む。）は口丹通学圏にあっては普通科（第Ⅲ類、普通科総合選択制を除く。）定員の20%以内、中丹・丹後通学圏にあっては普通科（第Ⅲ類、普通科総合選択制を除く。）定員の50%以内に限られる。

例 7（様式 A の 1 のア 全通学圏）

志 望	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望		
	課 程 名	全日制	定 時 制 昼 夜	全日制	定 時 制 昼 夜	
	学 科 名	情報科学		企画	会計	第 1 順位の学科を左側に記入すること。
	類・類型 又は系統等	/		/		
	学 校 名 （分校志望者は 分校名まで記入 してください。）					京都すばる
	上記高等学校以 外入学を志願し ません。	/				
	特別活動・部活動 に関連する入学 希望の有無					

第 1 志望が単独選抜の場合は、この欄
は抹消すること。

<例 7 で記入した志望の扱い>

①第 1 志望について

京都すばる高校の情報科学科を第 1 志望とする志願者を選抜し、合格者を決定する。

②第 2 志望について

第 1 志望で合格とならなかった場合、京都すばる高校の企画科について、企画科を第 1 志望とする志願者から合格者を決めた後、なお欠員がある場合、第 2 志望を生かして、他の第 2 志望とする志願者と合わせて選抜し、合格者を決定する。

最寄りの停留所・駅記入例（様式 A の 1 のア）

入学願書（様式 A の 1 のア）における保護者の住所に最寄りの停留所・駅のコード番号（停留所・駅名）欄について
最寄りの停留所・駅のコード番号及び停留所・駅名については選抜要項別表 1 によって記入するが、同じ停留所・駅名でも
通学圏によりコード番号が異なるので志願者の保護者の住所の存する通学圏に掲げるものを記入すること。

なお、同じ番号の停留所・駅はいずれも、入学校の決定に当たっては同等に扱う。

例

選抜要項の「別表 1」の表示	志願者の保護者住所（生活の本拠）	願書への記入
10601 京都市役所前 市バス	京都市中京区寺町通御池上る 上本能寺前町488番地	10601 (京都市役所前)

入学願書記入例（様式Aの1のイ）

様式Aの1のイ

平成 25 年度選抜

※受付番号	
※受付 学校名	

一 般

入 学 願 書

住所は、郡・市から書き出す。

転居予定の者も、出願時の
住所を記入すること。

字体は、住民基本台帳等
のとおりを基本として、楷書で
正確に。

〔保護者の住所が山城通学園にあり全日制普通科を第1志望とする志願者、又は保護者の住所が口丹・中丹・丹後通学園にあり全日制普通科（普通科総合選択制及び単位制による課程の普通科を除く。）を第1志望とする志願者用〕

在学（出身） 中学校名	〇〇市立△△中学校
志願者住所	(〒610-0331) 京田辺市田辺明田1番地
ふりがな	やましる いちろう
志願者氏名	山城 一郎 平成9年12月1日生 男・女

上記の者は、下記のとおり入学を志望しますので、出願します。

平成 25 年 2 月 25 日

京都府立 A 高等学校長 様

第1志望第1順位に希望する
高等学校名を記入すること。

(〒	志願者に同じ。
保護者住所 ふりがな	やましる たろう
保護者氏名	山城 太郎 (印)
志願者との関係	父

(電話) 0774-62-0008

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

記

志	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望
	課程名	全 日 制		全 日 制
望	希望順位	第1順位	第2順位	
	学 科 名	普通	普通	
	〔普通科第Ⅲ類を志願する場合は、類・類型まで記入すること。〕			
望	学 校 名	A	B	

（他の都道府県からの入学志願者又は出願時に成年に達した入学志願者は、下欄に連絡先等を記入してください。）

連 絡 先 (〒 -)	(方) 電話
在学（出身）中学校住所 (〒 -)	電話

志望先記入例（様式Aの1のイ）

例（様式Aの1のイ 山城・口丹・中丹・丹後各通学圏）

志望	区 分	第 1 志 望		第 2 志 望
	課程名	全 日 制		全 日 制
	希望順位	第 1 順位	第 2 順位	
	学 科 名	普通	普通	
望	学 校 名	A	B	

第2順位まで記入できる。第2順位の希望がない場合は、斜線で抹消すること。

<例で記入した志望の扱い>

- ① A高校普通科を第1志望第1順位とする希望者の中から一般選抜募集人員の85パーセント以内の合格者を決定する。
- ② ①において合格とならなかった場合、

ア 他校の第1志望第1順位で合格とならなかった者で、A高校普通科を第1志望第2順位希望とする者を合わせて、A高校の募集人員までの合格者を決定する。

イ B高校普通科を第1志望第1順位とする希望者の中で合格にならなかった者と、B高校以外の普通科を第1志望第1順位とし合格とならなかった者で、B高校普通科を第1志望第2順位とする者をあわせて、B高校の募集人員までの合格者を決定する。

ウ ア及びイでA高校及びB高校とも合格範囲内となった場合は、第1志望第1順位のA高校で合格となる。

「第2志望」欄の記入について（選抜要項4(7)ウ(ウ)、(エ)）

(ウ) 「志望」欄は第2志望までの記入を認める。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。

なお、第2志望がない場合は、「第2志望」欄の全部を斜線で抹消すること。

- a 全日制と定時制にまたがる場合
- b 同一学科（全日制の普通科においては同一類・類型）で2校にまたがって志望する場合
- c 普通科第Ⅰ類、第Ⅱ類、第Ⅲ類若しくは普通科総合選択制又は単位制による課程の普通科を第1志望とし、第Ⅱ類若しくは第Ⅲ類又は単位制による課程の普通科を第2志望とする場合
- d 山城通学圏の普通科をまたがって志望する場合
- e 口丹、中丹又は丹後通学圏の普通科（普通科総合選択制を除く。）をまたがって志望する場合

（志願できない例）

	第 1 志 望	第 2 志 望
a	A 高校普通科第Ⅰ類	B 高校普通科（定時制）
b	A 高校普通科第Ⅰ類	B 高校普通科第Ⅰ類
	A 高校α科	B 高校α科
	A 高校定時制普通科（学年制又は単位制）	B 高校定時制普通科（学年制又は単位制）
c	A 高校普通科第Ⅰ類	B 高校普通科第Ⅱ類 又はB 高校普通科第Ⅲ類 又は城南菱創高校単位制普通科
	A 高校普通科第Ⅱ類	
	A 高校普通科第Ⅲ類	
	A 高校普通科総合選択制	
	城南菱創高校単位制普通科	
d	（山城通学圏にある）A 高校普通科	（山城通学圏にある）B 高校普通科
e	（口丹、中丹又は丹後通学圏にある） A 高校普通科（普通科総合選択制を除く。）	（口丹、中丹又は丹後通学圏にある） B 高校普通科（普通科総合選択制を除く。）

(エ) 「第2志望」欄に普通科及び総合学科以外の学科（以下「専門学科」という。）を記入する場合は、次に掲げる場合を除き、同一校（同一分校）に設置されている専門学科に限り2学科（2系統）記入できるものとする。その際、左側に記入した学科を第1順位とする。

- a 京都府立京都すばる高等学校 「会計科、企画科又はビジネス探求科」と「情報科学科」
- b 京都府立木津高等学校 「システム園芸科」と「情報企画科」
- c 京都府立京都八幡高等学校（南） 「介護福祉科」と「人間科学科」
- d 京都府立北桑田高等学校（美山） 「農業科」と「家政科」
- e 京都府立福知山高等学校（三和） 「農業科」と「家政科」
- f 京都府立峰山高等学校（弥栄） 「農園芸科」と「家政科」

学科の区分（農業に関する学科、商業に関する学科、家庭に関する学科、情報に関する学科、福祉に関する学科）において異なるものを組み合わせた志願はできない。

（志願できない例）

	第 2 志 望	
	第 1 順 位	第 2 順 位
a	京都すばる高校 情報科学科	京都すばる高校 企画科、会計科又はビジネス探求科
b	木津高校 システム園芸科	木津高校 情報企画科
c	京都八幡高校（南） 介護福祉科	京都八幡高校（南） 人間科学科
d	北桑田高校（美山） 農業科	北桑田高校（美山） 家政科
e	福知山高校（三和） 農業科	福知山高校（三和） 家政科
f	峰山高校（弥栄） 農園芸科	峰山高校（弥栄） 家政科

※第1順位と第2順位を逆にしても志願できない。

報告書（様式Cの1）「学習の記録」欄の記入について

「学習の記録」欄における特別支援学級及び特別支援学校に在籍する知的障害のある生徒等の「必修教科」の評定点については、次の要領により記入すること。

- 1 上段の数字は、「中学校学習指導要領」に示す目標に照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。
- 2 下段の（ ）書きの数字は、「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領」に示す中学部の目標又は生徒の発達状況を踏まえ各中学校において定める目標等に照らして、その実現状況を5段階の評定点により記入すること。

報告書（様式Cの1）の抜粋

学 習 の 記 録	必 修 教 科		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語
	第1学年	評 定	2 (3)	3 (4)	2 (3)	3 (4)	3 (4)	2 (2)	4 (5)	2 (4)	1 (2)
	第2学年	評 定	3 (4)	3 (4)	2 (3)	4 (5)	3 (4)	2 (2)	4 (5)	3 (3)	1 (2)
	第3学年	観 点 別 学 習 状 況	I								
			II								
			III								
			IV								
V											
評 定		3 (3)	2 (4)	2 (4)	3 (5)	3 (4)	2 (2)	4 (5)	2 (4)	1 (2)	

報告書（様式Cの3）の記入について

第3学年については、平成24年12月31日現在の状況を記載

1 生徒の出欠状況

	授業日数	出席日数（内、教育支援センター等の学校外施設（以下「学校外施設」という。）への通所等の日数）	欠席日数（内、学校外施設への通所等の日数）
第1学年		()	()
第2学年		()	()
第3学年		()	()

※ いわゆる「別室登校」で学校に登校している場合は、出席日数に含む。

2 欠席等で学校へ登校しなかった連続日数

	連続日数	内、学校外施設への通所等の日数（出席扱い含む。）
第1学年		
第2学年		
第3学年		

土日祝や長期休業等は含まない。下記参照。

※ 各学年で連続した日数が、最も多い日数を記入すること。

3 長期欠席の理由

志願者が長期にわたり欠席を余儀なくされたことに至った理由を具体的に記入すること。
例）志願者の状況の変化、現状、授業時の様子など

4 生徒の状況

(1) 欠席中の状況

欠席中の志願者の生活及び行動、志願者に対する中学校の指導について、具体的に記述する。

(2) 第3学年時の登校時の状況（該当する記号（ア～エ）に○印を付し、必要事項を記載すること。）

ア	ほぼ教室に入れる。
イ	教室に入れないことがある。（出席日数の割程度）（別室名）
ウ	遅れて登校することが多い。（出席日数の割程度）
エ	早く帰ることが多い。（出席日数の割程度）

※ 複数の記号に該当する場合、該当事項すべてに記入すること。

5 その他特記事項

生徒の健康状況等の他、「高校で学ぶ能力や意欲」について、特筆すべき点があれば記入すること。

<連続日数の例>

	月	火	水	木	金	土	日
1週目	出席	欠	欠	欠	欠		
2週目	欠	欠	祝	欠	出席		

上記の場合、連続欠席日数は、7日となる。

（土日で区切って4日、或いは土日祝を含めて10日とならないこと。）

特別事情具申記入例 1

停留所・駅	中学校区	願書提出先高等学校
10514 (府庁前)	上 京	京都 (府) 市) 立 嵯峨野

第2号様式 (の2)

京都府教育委員会教育長
京都市教育委員会教育長

様

選抜要項に規定する願書提出
先校を記入すること。

平成25年 1月10日

総合選抜を行う普通科第Ⅰ類
を志願する場合のみ、転居先
の最寄りのバス停・駅名を記
入すること。

保護者氏名 京 一郎 印

志願者氏名 京 のぞみ

志願者と保護者との関係 父

在学(出身)中学校名 宇治市立△△中学校

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

高等学校入学志願者の住所に関する届

私は、京都府立高等学校
京都市立高等学校 に入学を志願するに当たっては、住所を下記のとおりとしますので届け出ます。

1 届出の理由 該当箇所「し」を記入する。 記

- (1) ☒ 転居 (☒ 府内の転居、☐ 他の都道府県から府内への転居、☐ 外国から府内への転居)
(2) ☐ 保護者の生活の本拠が住民基本台帳に記載された住所と異なる。

説明 (転居する者、転居日など詳しく記入してください。)

現在、京都市内に家屋を新築中で3月下旬に完成の見込みです。
なお、完成後、春休み期間中に一家で転住する予定です。

2 届け出る住所 (1の(1)の場合は転居先住所、1の(2)の場合は生活の本拠の所在地)

保護者：京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町

志願者：保護者に同じ。

3 現住所等 (1の(1)の場合は転居前住所、1の(2)の場合は住民基本台帳に記載された住所)

保護者：宇治市△△町××番地 電話 0774 (××) ××××

志願者：保護者に同じ。

4 志望高等学校等 (1)又は(2)の該当箇所に記入してください。)

(1) 学力検査

	第1志望	第2志望
学科名	普 通	普 通
類・類型又は系統等	第Ⅱ類 (人文系)	第Ⅰ類
学校名	嵯峨野	嵯峨野

(2) 上記(1)以外

区 分	高等学校名	学科等

※何も記入しないこと。

第2順位を希望する場合、線で区切って
希望を記入すること。
(願書への記入方法に従い、記入。)

証 明 書

☒ 上記の事情に相違ないことを証明します。

☐ 上記の事情に相違なく、()都道 公立高等学校に入学を志願しないことを証明します。
府県

平成25年 1月10日

宇治市立△△中学校

在学(出身)中学校長氏名 校長 宇 治 川 渉 印

在学(出身)中学校所在地 宇治市△△町□□番地

電話 0774 (〇〇) 〇〇〇〇

特別事情具申記入例 2

停留所・駅	中 学 校 区	願書提出先高等学校
()		京都 (府) 市) 立 亀 岡

第2号様式 (の2)

京都府教育委員会教育長
京都市教育委員会教育長

様

平成 25 年 1 月 10 日

願書提出先校を記入すること。

保護者氏名 奈良 一郎 印

志願者氏名 奈良 学

志願者と保護者との関係 父

在学(出身)中学校名 奈良市立△△中学校

注 「保護者氏名」欄について、保護者自署の場合は押印不要です。
その他の場合については、保護者印を押印してください。

高等学校入学志願者の住所に関する届

私は、京都府立高等学校 に入学を志願するに当たっては、住所を下記のとおりとしますので届け出ます。
京都市立高等学校

該当個所に「レ」を記入する。 記

1 届出の理由

(1) ☒ 転居 (□府内の転居、☒ 他の都道府県から府内への転居、□外国から府内への転居)

(2) ☐ 保護者の生活の本拠が住民基本台帳に記載された住所と異なる。

説明 (転居する者、転居日など詳しく記入してください。)

現在、奈良市内に居住していますが、3月下旬に亀岡市内の賃貸物件に一家で転居する予定です。

2 届け出る住所 (1の(1)の場合は転居先住所、1の(2)の場合は生活の本拠の所在地)

保護者: 亀岡市△△町××番地

志願者: 保護者に同じ。

3 現住所等 (1の(1)の場合は転居前住所、1の(2)の場合は住民基本台帳に記載された住所)

保護者: 奈良市△△町××番地 電話 0742 (××) ××××

志願者: 保護者に同じ。

4 志望高等学校等 ((1)又は(2)の該当箇所に記入してください。)

(1) 学力検査

	第1志望	第2志望
学科名		
類・類型又は系統等		
学校名		

該当する選抜方法等の区分 (推薦入学、特色選抜、適性検査等) を記入すること。

(2) 上記(1)以外

区 分	高等学校名	学科等
特色選抜	亀 岡	普通科

※何も記入しないこと。

証 明 書

□上記の事情に相違ないことを証明します。

☒ 上記の事情に相違なく、(奈良) 都道府県 公立高等学校に入学を志願しないことを証明します。

平成 25 年 1 月 10 日

奈良市立△△中学校
校長 平 城 歩 印

在学(出身)中学校長氏名

在学(出身)中学校所在地 奈良市△△町□□番地

電話 0742 (〇〇) 〇〇〇〇

他府県から府内への転居の場合は、下段の□にレを記入し、()の中に保護者が現在居住している都道府県を記入すること。

